

# 第5回仙台湾南部海岸総合学習情報交換会 議事要旨

日時：平成19年12月21日（金）15:00～16:30

場所：亘理町立図書館（悠里館内）

3階 視聴覚ホール

参加者：11名（別紙参照）

## 1. 開会

## 2. あいさつ

## 3. 「仙台湾南部海岸総合学習情報交換会」の趣旨説明

## 4. 参加者自己紹介

## 5. 議事

### （1）前回の概要報告

～事務局より、第4回仙台湾南部海岸総合学習情報交換会のまとめ（資料2）につ  
いて説明～

### （2）前回からの取り組み状況の報告

～事務局より、仙台湾南部海岸をフィールドとした環境学習DVD（資料5）につ  
いて説明～

以後、質疑応答

（座長）

- ・ DVDを海岸付近の学校に配布して、実際にどのような活動をするのか、海辺の博士がどのような関わり方をするのかという事が、見えるのではないかと思います。

（委員）

- ・ 大変綺麗な映像で、すごく良いと思いました。
- ・ 学校の中でこのようなものがあるという事を紹介して行きたいと思います。

（委員）

- ・ 内容が分かっている方達にとってはすごく良いと思いますが、初めて見る方達にそのままでは、ここから何を感じ取ったらいいのかというのが、難しいのではないのでしょうか？

- ・ 画面的にはすごく綺麗だと思いました。

(座長)

- ・ 今後、学校に配付するといった時に、ただ配付して「ご覧下さい」というだけではなく、直接行って説明する必要があるのではないかと思います。

(事務局)

- ・ 来年の学習計画に取り入れて頂きたい思いもあり、急いで作成しました。
- ・ DVDを今後、売り込みに行かなければと思っていますが、最初のきっかけづくりのツールとして捉えてもらえればと思っています。
- ・ 我々の主旨として、最初は海岸の環境について触れて感じてもらった上で、授業に取り入れてもらえればという思いがありました。
- ・ 学習してもらった後に生きてくる様な形であれば幸いかなと考えています。

(博士)

- ・ DVDで内容を説明するという事で考えれば中身的に不足していると思いますが、役所でこういう事をやっているという入口部分を見てもらうという意味では、取っ掛かりになるのではないかと思います。
- ・ 一つ一つこういうプログラムがありますという事や、実際に子供達がやっている所を写して、取り貯めし編集して行くしかないのではないかと思います。

(博士)

- ・ DVDを見て、教室の中でやるのと実際に現場に出てやるのとでは、子供達の顔色も目つきも違うという事を感じました。
- ・ もっともっと色々な学校に配付すれば、また違った面からも参加出来るのではないかと思います。

(座長)

- ・ 例えば、来年度の学校教育課程の中で、直接DVDを見てもらい各学校で説明したとしても、果たして本当に使う事が出来るのかという思いもあります。

(委員)

- ・ 学校内でやらなくてはならない事が年間計画で決まっており、新たに取り入れるとなると、この情報交換会などできっかけを持った先生が広めるという事をしないと、なかなか難しいのではないかと思います。

(委員)

- ・ このDVDは、PRという目的では良いと思いますが、色々な業界の方からCD-ROMとか配布され、ニーズとか興味がないとなかなか見ないと思います。
- ・ この様な情報交換会に参加してDVDを見た方であれば広められると思います。

### (3) 活動事例報告

～事務局より、平成19年度の活動事例報告（資料3）について説明～

以後、質疑応答

(委員)

- ・ 「海は危険だ」という気持ちが先にたち、安全面で思い切ったことが出来ませんでした。フィールド学習の時、国土交通省から沢山のスタッフにきてもらい、また、専門的な指導者のもとで実施でき、子供達は大変興味を持って取り組みました。
- ・ 経験して実際にやってみて凄くいい勉強になり、今後とも活用していきたいと思いません。
- ・ 初めてお願いする先生は不安が先に立つと思うので、内容などうまく伝えていかないといけないと思います。

(座長)

- ・ 先ほどDVDにあったとおり、教育委員会が介在するという形式的になっていますが、実際はそうではありません。

(事務局)

- ・ 教育委員会も含めたこの情報交換会の中でオーソライズされているものと思っています。
- ・ 教育委員会の中である程度関係機関の整理や、逆に間に立ってもらうことにより、PR効果もいくらかあるのではと期待おり、とりあえずこの流れでやってみたいというところです。

(座長)

- ・ 窓口はきちんとした方がいいと思います。これ以外に何か感想はありませんか？

(博士)

- ・ 環境ブックの中のものを一通りやればある程度充実した内容になるので、これも活用すると良いと思いました。

(座長)

- ・ 学校での取り組みは基本的にはこの環境ブックの内容をあつかわれているということですね。

(博士)

- ・ 仙台の八本松小学校は、毎年学年ごとに広瀬川でやる課題があり、毎年申し送りで3年生から6年生まで必ずこれをやるというプログラムが決まっています。学年ごとにある程度形作ってそれを毎年申し送りで行くっていう形はできないでしょうか？

(委員)

- ・ 総合学習の計画については、おととしまでの段階で確立されています。去年から貞山堀をテーマにした研究指定を初めて受け、総合学習110時間の中から何かを取り除いて、そこに入れようということで現在、模索していますが、今、110時間から70時間に総合学習の時間が減らされますので、また考えなおさなければいけません。

(博士)

- ・ 時間が減らされるとなると、かなりこちらにしわ寄せが来るなどと思っています。

#### (4) 仙台湾南部海岸での学習に関するアンケート

## ～事務局より、仙台湾南部海岸での学習に関するアンケート結果（資料4）について

### 説明～

以後、質疑応答

（座長）

- ・ 一部のフィールド学習は、学校側で年間計画をきちっと立てて、その範囲の中でやってくれたという事ではなくて、突発的な中で対応してくれたという状況でしたので、海岸の環境を教材としての有効性について、あまり知識として持たないのは当然な事だと思います。
- ・ そういう中で指導から何までお任せという形になってしまったというのがありましたので、海辺の博士の役割について今後検討して行かなければならないと思っています。
- ・ 前もって学校側との事前打ち合わせがとても重要であり、来年の事は今からという様なスタンスで関わって行かなければと思います。
- ・ 来年度から指導要領が大幅に換わるので、総合的な学習の時間だけではなく、教科教育の理科や社会といった所に、どの様に活用していくかが、情報交換会の今後の大きな課題になってくるのではないかと思います。
- ・ アンケート結果が良かったので、今後も利用してもらえる様に、事前に学校へ行って意見交換というのを進めてもらえればと思います。

### （5）今後の取り組み（案）について

～事務局より、今後の取り組み（案）について（参考資料）について説明～

- ①沿岸3市町村の小中学校で取り上げている総合学習テーマの把握
- ②教科書の単元と関連する環境ブックテーマについて
- ③直接伺って行う学校へのPRの実施について

（座長）

- ・ 直接、学校に行っても、こういったテーマがありますよというだけではダメで、理科のこういう教科の中で、子供達が海岸のここに行って学習して見出せるものや、指導内容に結びつく流れや動きが見えるという事も必要ではないかと思います。

（委員）

- ・ 教員は普段授業に行っているの、会議等の色々な先生方が集まる機会にPRするのが良いのではないのでしょうか？

（座長）

- ・ 例えば、夏休みに先生方と海辺に集まって、研修会をするというのはいかがでしょう

か？

(委員)

- ・ 環境問題について興味を持っている先生も沢山おられますが、いざそれを子供達にどう伝えるかというのは、なかなか難しいです。
- ・ 夏休みにみなさんで研修会をしませんかという形でやれば、以外と集まるのではないかと思います。

(博士)

- ・ 1日かけて実際にやることを先生たちにも体験してもらえれば、かなり理解してもらええると思います。
- ・ 先生が集まってもらえるならそういう体験会などをするのは構いませんが、忙しい先生はそれに参加できるでしょうか？

(委員)

- ・ 教科別研究会というのがあり、夏休みは必ず一日研修のために取っています。今までは講演会などが多かったのですが、そういう時にこういった体験会などをもってくれば何百人か集まります。

(博士)

- ・ 幹事校の先生にお願いして先生が興味をもってもらえれば、段取りなどはこちらで提案することで、幹事の先生の負担も軽くなると思います。

(委員)

- ・ 研究会ではなく、理科部会とか国語部会とか教科の部会というものもあります。

(委員数名)

- ・ 部会なら新年度になってからでも出来ます。

(事務局)

- ・ 貴重なお話をもらったので、早速聞き込みをして検討したいと思います。

## 6. その他

- ・ 特になし

## 7. 閉会のあいさつ

以上